

きいて・めもして・こたえよう

ニュース 天気と災害への 備え

なまえ
名前

聞くめあて 台風についての「事実（起こること）」と、聞き手への「呼びかけ（おねがい）」を、分けてメモしましょう。

おとさない言葉：事実・呼びかけ・数字

放送が終わったら、開いて問題に答えましょう。

(1) あす、九州地方に近づくと予想されているのは、何ですか。

(2) あすは、一時間に何ミリの雨がふる見こみですか。

(3) 市役所は、いつまでに、安全な場所へひなんするように言っていますか。

(4) 次のうち、聞き手への「呼びかけ（おねがい）」にあたるものはどれですか。○をつけましょう。
ア あすの昼ごろから、雨と風が強まる

イ 川や海の様子を、見に行かないでください
ウ 一時間に八十ミリの雨をこえる雨がふる見こみだ

(5) この台風について、もっと知りたいことを「しつもの文」で一つ書きましょう。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声流す）。読む回数：1回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

ニュースをお伝えします。あす、九州地方に、大型の台風が近づくと予想されています。今日は、この台風のとくちょうと、わたしたちがそなえておくべきことを、お伝えします。

今回の台風は、これまでにない、強い勢力をもっています。あすの昼ごろから、雨と風が強まり、夜には、一時間に八十ミリをこえる、はげしい雨がふる見こみです。海の近くでは、高波にも、注意が必要です。

気象台は、川のはんらんや、土砂くずれの、きけんが高まるとして、早めのひなんを、よびかけています。市役所からは、あすの正午までに、安全な場所へ、ひなんするようにとの、お知らせが出ています。

みなさんに、おねがいがあります。ひなんの前に、かい中電灯や、飲み水、非常食を、リュックに用意してください。そして、家の周りの、とばされそうなものは、家の中に入れてみましょう。決して、川や海の様子を、見に行かないでください。

自分の命を守るのは、自分自身です。「まだ大丈夫」と思わず、明るいうちに、早めに行動してください。以上、台風にとそなえるための、ニュースをお伝えしました。

メモのれい

ニュース：天気と災害への備え（大型台風が接近）

事実：あす昼から雨風強まる／夜 一時間八十ミリ／海は高波注意

呼びかけ：正午までにひなん／かい中電灯・飲み水・非常食を用意／川や海を見に行かない

気象台・市役所のお知らせ（土砂くずれ・はんらんのきけん）

こたえと かいせつ

(1) 大型の台風

「九州地方に、大型の台風が近づくと予想されています」の部分です。

(2) 八十ミリ

「夜には、一時間に八十ミリをこえる、はげしい雨がふる見こみです」と言っていました。

(3) あすの正午まで

「あすの正午までに、安全な場所へ、ひなんするように」と言っていました。

(4) イ（川や海の様子を、見に行かないでください）

アとウは、これから「起こること（事実）」の予想です。イは、聞き手への「呼びかけ（おねがい）」です。

(5) (例) 台風は、いつ、通り過ぎますか。／学校は、休みになりますか。

台風に関係する「たずねる文（～ですか。）」になっていれば正解です。